

4 水のある暮らしを守るために

⑧ 水の環境を守るためにわたしたちにできること



みんながいつも使っている水について考えてみよう。

かぎりある地球の水

宇宙から見た地球



わたしたちの住む地球が、青くてきれいなのは水がたくさんあるからです。でも、そのほとんどが海水です。わたしたちの生活に使える水は、どれくらいでしょう。



地球にある水を100としたら



川・湖・地下水など
(水道など生活に使える水)

南極・北極などの氷



海水 97

SDGs(エス・ディー・ジーズ)って知ってるかな?

SDGs(エス・ディー・ジーズ)とは、2015(平成27)年9月の国連サミットで採択された、すべての人にとってよりよく、持続可能な未来を築くための「17の目標」のことです。

「地球上の誰一人として取り残さない」ことを目標に、2030(令和12)年までに貧困や不平等、気候変動、環境破壊、平和と公正など、私たちが直面するグローバルな課題の解決を目指します。

目標6が水に関係ありそうね。



森を守ることが水を守ることにつながることを勉強したね。ほかにもあるかな?



世界では今こんなことが!

安全な水を飲める国は?

世界で水道水をそのまま飲めるのは、日本をふくめて約10か国。また、世界で6.6億人の人が安全な飲料水を利用できていません。

世界のみんがせいけつなトイレを使えるの?

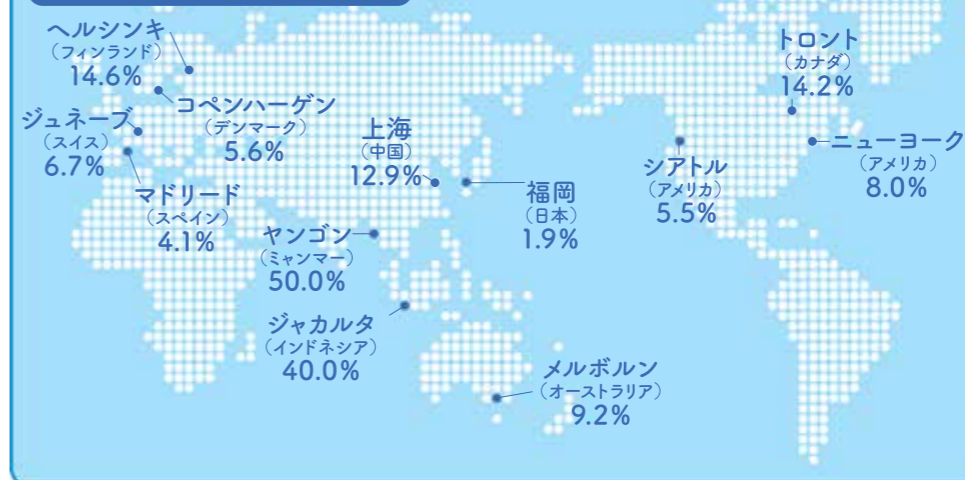
世界で、せいせいせつ(トイレ)が使えない人々は20億人、そのうち6億7300万人は、道ばたや草むらなどの野外で、はいせつしています。

ここがすごい!
福岡市!

世界トップの低い漏水率

浄水場でつくられた水のうち、配水管や給水管からもれて家庭までに届かない水(漏水)の割合を「漏水率」といいます。福岡市の漏水率は1.9%(令和6年度実績)で8年連続日本一低い漏水率です。これは、世界の中でもトップの漏水率の低さです。

世界の都市の漏水率



ムダなく大切に
使っている
んだね!



優れた技術を海外へ

実は、日本のようにじゃ口からいつでも安全な水が出てくる国は数えるほどしかありません。また、浄水場できれいにした水の半分以上が、水道管からもれて失われてしまう国もあります。

福岡市は、1人でも多くの人々が安全な水道水を使えるように、水道局の職員が海外に行って水道の技術を教えています。また、海外の人が日本に来たときには、水道技術研修所などで研修を行っています。



SDGs(エス・ディー・ジーズ)の「S」は、サステナブル(持続可能)を意味します。水道局では、これからも安全でおいしい水道水をつくり・届けるために、水源の水を守る(P32)や地震に強い水道管を使用すること(P37)など、様々な取り組みを続けることで、持続可能な社会を目指しています。



(解説) ● SDGs (Sustainable Development Goals) は、「持続可能な開発目標」です。

(出典) 「世界の都市の漏水率」は、以下をもとに作成しています。(福岡市を除く)
ヤンゴン・ジャカルタ: 経済産業省『海外展開戦略(水)』(H30年)
上記以外の都市: (公財)福岡アジア都市研究所『世界主要都市漏水率調査報告書』(R6年)